

令和4年度自己評価シート

学校法人北見小林学園 認定こども園 高栄幼稚園

1、本園の教育目標

本園設立以来、理事長の幼児教育に対する思いを受け継いでいる。

『明るく元気で丈夫な子』『友達と楽しく遊ぶ子』

『心豊かで思いやりのある子』『自分で考え、一生けんめいやりぬく子』

『音楽を愛し、楽器に親しむ子』『国際性豊かな子』とし、その具体化を目指す。

2、本年重点的に取り組む目標及び計画

現在の経営方針としている「安全と創造」を共通の理解とし、子ども達の生きる力・自立力を育てるため自ら行動・発言できるよう働きかける。その為には教師自身が行動、態度で範を示せるよう社会性を身に付けるよう教職員の理解を統一する。併せて、現代幼児の課題、保護者のニーズを確認し次代を担う子ども達の健全な成長に寄与していきたい。

3、評価項目の取り組み状況

評価項目	取組状況
子ども達の自主的生活展開を図るため教職員の共通理解を進める。	クラスの子どものみではなく、全ての子ども達にかかわりを持つよう心がけ、毎日保育後の情報交換を行う。 基礎体力づくりの為に南公園の活用も積極的に取り入れていきたい。
子ども達の自主的生活や安全管理を進める為に工夫をする。	バス運行は原則自宅前乗降とすることで安全運行に徹する。 危機管理を徹底し緊急時の対応の為に赤十字幼児安全支援員の研修を受ける等危機管理の徹底を図る。なお一層の安全運転徹底を図る。
現代の幼児の実態を把握するとともに保護者のニーズの把握に努め、よりよき適切な対応に勤める。体験を重視した保育を心がける。	子ども達に本物体験をさせる事を目的に事業を積極的に取り入れている。挨拶・基礎体力の向上・異文化交流などの視点から様々な活動を楽しみ体験してもらうことを目的とし取り組んでいる。また、異年齢の交流活動（縦割り保育）を考慮し「わくわくランド」また、マーチング・詩吟やマーチング等年長から年中への子供同士の引継ぎなどにより異年齢交流に努めている。 春・冬期間の個別懇談で保護者と一対一で意見交換の機会を設け、子ども達が楽しく安心して通園できるよう信頼関係を築く努力をしている。他にも電話・連絡帳・お便り・レーザーキッズ（通信連絡）などで日々の情報や様子を伝える努力をしている。

4、具体的目標及び計画

元年度の各取り組みにより、高栄幼稚園の基本的方針は共通理解されてきていると思う。
今後、時代やニーズに合わせて、尚一層の具体的計画を立案し次代を担う子ども達の教育に取り組んでいきたい。

5、今後取り組むべき課題

課 題	取 組 方 法
特別支援の取り組み	定期的に個人データを記録し、関連施設・機関との連携・見学を実施し共通理解の基に保育を進めていきたい。
ボランティア活動への参加	コロナ状況が改善され安全な環境が整えば、高齢者施設の慰問（1施設）高栄地区フェスティバルへの参加、公園のゴミ拾い等地域ボランティアへの参加を再開したい。
保育の質の向上の為の取り組み	事業の取り組みを深め、よりよい本物体験を進めていきたい。 研修会に積極的に参加、事業の取り組みを公表し更に深めていきたい。
外国語体験・古文の素読の取り組み	保育内での取り組みは当然として時間外に英語教室（アフタースクール）を実施、職員研修も含めて実施する。 正しい日本語の発声と礼節を身につけ自分の意見を自分の声で伝えること（自立）を目的とする。
その他	職員による自己評価・保護者によるアンケートの意見を積極的に検討し、子ども達には楽しく、保護者にとっては安心して通える幼稚園である様、なお一層の努力をしていきたい。

6、学校関係者の評価

特に指摘されることは無く的確に運営されていると認められる。

7、財務状況

公認会計士の指導・監査により適性に運営されていることが認められている。